

提案1 NPO法人 ハートフルコミュニケーション 千葉エリア

【印西市での活動実績】 ハートフルコミュニケーション 2023. 6. 26

●企画提案型協働事業への提案

- ・令和元年5月 市民活動団体登録
- ・令和元年度企画提案型協働事業企画案提出
アイデア審査 通過

●印西市からの依頼講座の実施

市民活動推進課 男女共同参画係

- ・「思春期・反抗期の子どもとの付き合い方」 R元年12月15日
- ・「オンライン子育ておしゃべり会」 R3年2月24日
- ・「オンライン講演会 あなたらしくの子そだて」 R4年2月13日

●印西市での市民活動

- ・令和2年5月市民活動支援センター団体登録
- ・令和2年5月～「オンライン子育ておしゃべり会」立ち上げ
市民活動支援センターHPでの告知
※コロナ禍では、活動はすべてオンライン
- ・令和2年11月 市民活動登録団体冊子への掲載(活動紹介)
- ・令和3年7月 市民活動支援センター発行団子通信への団体紹介への掲載
- ・令和5年5月29日 (対面活動再開)
「子どもの心のコーチング」講演会&グループセッション開催
講演会は川崎からのオンライン配信・グループセッションは印西会場での対面開催

以上

貸借対照表

令和 4年 9月30日 現在

特定非営利活動法人ハートフルコミュニケーション

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	20,156,844	
書籍・出版物	418,682	
売掛金	20,000	
未収入金	15,130	
流動資産合計	20,610,656	
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
工具器具備品	2	
有形固定資産計	2	
(2)投資その他の資産		
長期前払費用	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計	2	
資産合計		20,610,658
II 負債の部		
1 流動負債		
買掛金	0	
未払法人税等	74,500	
預り金	53,449	
前受金	0	
流動負債合計	127,949	
2 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		127,949
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	20,974,333	
当期正味財産増減額	-491,624	
正味財産合計	20,482,709	
負債及び正味財産合計		20,610,658

家庭教育力アップのために

子育てのゴールは子どもの幸せな自立です。その鍵を握るのが、家庭における教育です。

子どもは、親に愛されながら自分で考え行動する経験を積み重ねるなかで、幸せに自立していくことができます。

それこそがハートフルコミュニケーションの目指していることです。

家庭教育力を高めるために、私たちは2つのことを活動の柱としています。

1. 子育てにコーチングを活用すること

コーチングを取り入れることで、親は「子どもの自立に向けて、今何ができるのか」という視点を持てます。それが、子どもひとりひとりに合った関わり方を選び、子どもの成長をサポートすることにつながります。

2. 親同士が共に学び、成長する場を作り出すこと

私たちが提供するプログラムでは、参加者同士の対話を重視しています。共に学び、喜びや悩みを分かち合う場の存在が、子育ての大きな支えになります。



お申込み・お問い合わせは

info@heartful-com.org

(右下のQRコードからアクセスできます)



さまざまなニーズに合わせたプログラムを日本中で展開しています

～ハートフルコミュニケーションは、子どもと共に成長したいすべての人を応援します～



講演会



子どもの幸せな自立のために親がどのような役割を果たせるか、そのために子どもに何を教え、どう関わるかをお伝えします。参加者同士の対話を通して、子どもとの接し方に気づく参加型の講演会です。

学校

自治体

企業

保育園、幼稚園、小・中学校、地方自治体などの家庭教育や子育て支援のプログラムとしてご依頼を受け、全国各地で講演を行っています。また、女性活躍推進、ワークライフバランスの充実に目的とした企業からのご要望にもお応えしています。

ワークショップ



子どもの自立をサポートするために、その子に合った具体的な関わり方を学び、親としてできることを考える講座です。子どもの成長段階に合わせて、乳幼児期、児童期、思春期などのシリーズがあります。同一テーマで連続開催すると、参加者は段階的に学ぶことができます。

■参加人数：2～30名程度

テーマや回数、時間をご相談に応じます。

例えば、教育委員会主催の「就学前の親向け講座」は、入学に備える親の心構えと子どもへの接し方をテーマにした、親同士の繋がりと家庭と学校の良好な関係作りにも役立つプログラムです。



ハートフルセッション



少人数のグループで定期的に、テーマに基づいて子どもとの日常をふりかえる場です。各回のテーマでは、子どもの幸せな自立のために欠かせないポイントを取り上げています。回を重ねるごとに、参加者同士がサポートし合う関係が生まれ、そのやり取りのなかから、自分らしく子どもと関わるヒントを見つけます。3名以上お集まりいただければご指定の場所での開催も可能です

■参加人数：3名～10名(月1回/全6回)



ごあいさつ

ハートフルコミュニケーションでは、親を「子どもが最初に出会うコーチ」と位置づけ、子どもの「できないこと」ではなく、「できること」に光を当てることで、子どものより良く生きる力を育てることを提案しています。

社会が大きく変化するなか、子どもを育てて社会に送り出す親の役割は重要です。同時に、親はその役割を自分をも育てる学びとして取り組むことが求められます。ハートフルコミュニケーションが目指すのは、分かりやすく、学びやすく、すぐに子どもとの日常で試せるプログラムです。その内容は常に二つの観点から構成されています。ひとつは子どもと接するための様々な知識とスキル。そして、もう一つは子育てにおける親のストレス緩和と成長です。私たちはオープンに語れる場づくりを通して、親が自信を持てる子育てを応援します。

代表理事
菅原 裕子
Yuko Sugahara



Profile

(有) ワイズコミュニケーション代表取締役として社員一人一人の能力を開発する企業コンサルティングを行う一方で、その考えを子育てに応用した「ハートフルコミュニケーション」を開発。行政機関などとともに連携し、全国で講演活動を行う、またハートフルコーチの育成などで、子育て支援を広めつつ、親の自己実現を援助する活動も展開している。

菅原裕子 著書

- 子どもの心のコーチング (PHP文庫)
- 10代の子どもの心のコーチング (PHP文庫)
- お父さんのための子どもの心のコーチング (PHP文庫)
- 子どもの「やる気」のコーチング (PHP文庫)
- 子どもの心のコーチング【しつけ編】 (PHP文庫)
- 子育てが変わる親の心得37 (幻冬舎)
- 自分と子どもが良くわかる本～エニアグラムで幸せ子育て (二見書房)
- ひび割れ壺～子育てに大切なことがわかる小さな物語 (二見書房)



他にも以下のようなプログラムを提供しています

「ホームスタディプログラム」

DVD教材 + コーチングでオリジナル子育て計画を

「オンラインコーチング」

一人で悩まずに相談を

「ハートフルクラブ」

各界で活躍する講師から子育てのヒントを学ぶ

「ハートフルコーチ養成講座」

ハートフルコーチになるための学びの場

組織概要

法人名	特定非営利活動法人 ハートフルコミュニケーション
設立	2006年 11月
事業内容	1. 社会教育の推進を図る活動 2. 子どもの健全育成を図る活動 以上を達成するために、次の事業を行う。 1. 講演開催事業 2. 人材育成事業 3. ハートフルコミュニケーション普及啓発活動
所在地	〒227-0044 神奈川県横浜市青葉区もえぎ野5-25 電話番号 090-1738-8169 メール info@heartful-com.org



NPO法人
ハートフルコミュニケーション

NPO法人ハートフルコミュニケーションの最新情報は
こちらのホームページをご覧ください



<http://www.heartful-com.org>

ハートフルコミュニケーション 検索



子どもの幸せな自立のために



大切な人の、いちばんのコーチになる

NPO法人

ハートフルコミュニケーション



提案2 印西・地域猫友の会

第1議案 2022年度 活動報告

会員総数：117名（2023年4月12日現在） 2022年度新規入会人数：13人

会員の皆様の入会動機は、「自宅の庭で餌やりをしている外猫の不妊去勢手術をしたい」「市内の職場の敷地に猫がいるので、不妊去勢手術をしたい」「現在は地域猫に関わっていないが、何か地域猫活動携わりたい」等様々です。

今後は、より多くの会員の方が、地域猫活動の現場で地域猫に携われるよう、会員相互のコミュニケーションを図っていただければと思っております。

不妊去勢手術と里親マッチング

昨年度は会全体で300匹を超える多数の不妊去勢手術の報告がなされました。

また、一昨年より多く市の助成金制度が利用されたこともあり、不妊去勢手術に着手したエリアも増え、地域猫活動のエリアがさらに広がりました。市の助成金が使えないエリアに関しましては、会から38件分（計286,000円分）の不妊去勢手術に対する補助金をお支払いしております。

加えて、昨年度も多くの方により、子猫を中心に個人で保護・里親マッチングがなされました。

市内には、安価で不妊去勢手術を行う協力病院が少ない状況下につき、引き続き、市内の病院の経営スタイル・料金体制にアンテナを張って、会員の皆様からの情報提供も得ながら、協力病院の探索を行う必要があると考えております。

給餌の現場について

地域猫活動の中心となっております「餌やり」は、不妊去勢手術を施す猫の捕獲のためだけでなく、手術後の地域猫の命をつないでいく大切な活動です。

この「給餌」活動も、会においては一部で地域住民の方との小さなトラブルが数件あったものの、大きな問題に発展せず、概ね良好であったことに安堵いたしております。

行政との連携・情報共有

地域猫を取り巻く住環境問題を解決するために、印西市と連携・情報共有を図っております。

行政への対応・要望履歴

年月	相談・打合せ内容	対応
令和4年 9月	印西市環境保全課より、市での捕獲機購入に関する相談。	会で利用している捕獲機他、用途に見合うと思われる機種を推奨。
令和4年 10月	印西市環境保全課より、一般市民による公道での不適切な餌やりについての相談。	当該現場にて、会員が餌やりの市民の方へ、ルール等のアドバイスをすると提案。

年月	相談・打合せ内容	対応
令和5年 1月	印西市環境保全課より、一般市民による公園での餌やりについての相談。	行政が地域猫活動を推奨している旨を、行政として一層市民に広報するよう依頼。
令和5年 1月	市の不妊去勢手術助成金の利用要件が、一部現実に則さないことに関する問題。	印西市環境保全課に対し、不妊去勢手術助成金利用要件緩和に関する検討を依頼。

行政への対応は、会長はじめ運営委員が対応しております。地域猫活動団体中心の活動から、将来的には地域住民と行政による活動のサポート役になることが健全な市民活動であると考えます。

将来的に行政がその方向へ舵取りできるよう、引き続き連携・協議を行ってまいります。

市民からの相談対応

メール問い合わせ等、市民からのご相談に対して、運営委員を中心に対応しております。

対応実績

月日	相談内容	対応
7月16日	庭に来ている外猫への餌やりについて。	近隣への配慮と不妊去勢手術を推奨。
7月17日	置き去りにされた外猫達の面倒について	敷地の所有者と協力するようアドバイス
7月31日	小学校の夏休み自由研究に、保護者から地域猫活動を題材にしたいと協力依頼。	会員の給餌場にて、会員立会いの下、子供達が地域猫活動を体験。
11月18日	近所の地域猫に対しする扱いについて。	不妊去勢手術の助成。給餌のアドバイス。
12月10日	近所の地域猫に対しする扱いについて。	不妊去勢手術の助成。給餌のアドバイス。
1月4日	地域猫が怪我をしている旨の通報。	運営委員が保護し、入院治療措置。退院後は会員が自宅で予後治療と里親を探索中。
1月7日	近所の地域猫に対する扱いについて。	不妊去勢手術の助成。給餌のアドバイス。
1月22日	迷い猫の情報公開依頼。	LINEにて会全体に探索チラシを公開。
1月29日	三重県の方から、地域猫活動に際して、会のチラシ紙面を利用したい旨の伺い。	三重県の地域猫達のためになればと、申し出を快諾。
3月8日	迷い猫に関する相談。	LINEにて会全体に連絡先等を照会。
年間5件	地域猫に不妊去勢手術を施したい。	入会と地域猫活動を推奨。3名が入会。
年間13件	猫を保護したい旨の相談。	会員が現場確認し、保護または里親を募集。相談者が保護する際の助成。

昨年度も子猫を中心に、保護したい、保護してほしい旨の問い合わせが多い1年でした。現場に行っても猫を確認できなかったケースも数件ありますが、多くの猫達が救われました。

運営委員会等開催実績

月日	内容	月日	内容
6月26日	臨時例会	11月23日	運営委員会 後期会計打ち合わせ
7月6日	運営委員会 22年度会運営方針	12月21日	運営委員会 後期会計見通しの件
7月27日	運営委員会 会則改正案の件	1月11日	市川クリーンセンター視察 ※
8月17日	運営委員会 提携病院会員手術枠の件	1月25日	運営委員会 会計支出見直しの件
9月14日	運営委員会 不妊手術予約規定の件	2月15日	運営委員会 治療費補助金の件
10月19日	運営委員会 会員証再発行の件	3月25日	運営委員会 23年度定期総会の件
10月21日	運営委員会 後期会計打ち合わせ	4月5日	運営委員会 23年度総会議案書の件

※ 1月11日、印西市の新たなクリーンセンターに愛護動物の火葬施設と供養施設が整備されるよう行政に働きかけるのを目的に、運営委員4名が組合の方を同行の上、同様の施設整備を既に実現している市川市クリーンセンターを視察しました。

猫餌の配布

昨年度も会の活動にご賛同いただいた方々から、たくさんの猫餌をご寄付頂きました。また、当会が「地域で活躍しているボランティア団体」として登録している「イオン」の、「幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈額にて、猫餌を購入いたしました。

昨年度はこの猫餌を、副会長がお一人お一人連絡の上、2回に分けて1人3kg程度を多くの会員にお届けしました。

要・不要の確認連絡：46名 お届け人数：18名

提携動物病院との連携・協議

会員による猫の避妊去勢手術が永続的に利用しやすい料金で且つスムーズにお願いできるよう、会長を中心に病院長との協議・打ち合わせをすることで、提携動物病院との連携を図っております。

打ち合わせ履歴

月日	内容	月日	内容
5月18日	手術予約取りまとめ担当変更の件	10月12日	会員証提示による会員枠確認の件
8月10日	手術予定猫の持込時注意点等の件	2月8日	予約のない手術可能日の扱いの件

1. 収入の部

単位(円)

費目	2022年度 予算	2022年度 決算	差額	摘要
	(A)	(B)	(B)-(A)	
繰越金	230,121	230,121	0	前年度の繰越金
会費	240,000	222,000	-18,000	111口分(未納者:4名)
寄付金	200,000	115,500	-84,500	9名分
公益信託助成金	0	0	0	印西市公益信託ま ^ち づくりファンド等
運営費・雑収入	50,000	10,001	-39,999	捕獲器貸出収入、ゆうちょ銀行利息
合計	720,121	577,622	-142,499	

2. 支出の部

単位(円)

費目	2022年度 予算	2022年度 決算	差額	摘要
	(A)	(B)	(A)-(B)	
報償費	10,000	0	10,000	講演会講演謝礼金及び謝礼品等
交通費	10,000	0	10,000	他団体との打ち合わせ交通費等
消耗品費	10,000	21,513	-11,513	コピー用紙、インクジェット、封筒等
印刷製本費	20,000	2,390	17,610	印刷代
通信運搬費	30,000	46,861	-16,861	郵送代、切手代
備品設備費	10,000	17,712	-7,712	捕獲用たも網、パソコン修理代
活動補助費	200,000	286,000	-86,000	不妊去勢費用の助成費
医療補助費	230,000	0	230,000	治療補助費
雑費	20,000	1,634	18,366	臨時例会お茶代等
予備費	50,000	0	50,000	不妊去勢費用の助成金立替未回収等
合計	590,000	376,110	213,890	

収入総額	¥577,622	支出総額	¥376,110	差引残高(繰越金)	¥201,512
------	----------	------	----------	-----------	----------


第3議案

会計監査報告

2022年度における「印西・地域猫友の会」会計につきましては、関係諸帳簿を監査したところ、適正かつ正確に処理されていることを確認しましたので、報告いたします。

2023年4月12日

会計監査

小川 安志 

会計監査

小原 綾 

提案3 NPO法人 亀成川を愛する会

第1号議案 2022年度事業報告

1 川と流域 保全・再生事業

(1) 亀成川の保全・再生事業 (千葉県河川海岸アダプトプログラム参加事業)

- ① 千葉ニュータウン造成に伴う拡幅工事から10年が経過し、北総台地から流れる川の特徴の砂の堆積や新たな造成に伴う造成土の流入により、川に土砂が堆積し、川の中にヤナギなどの植生がみられるようになった。また流路が狭まり、急流となった場所もある。川の水生生物の生息環境の劣化を少しでも防ぐ対策として、あみだくじ作戦を実施し、特に流路が狭くなっている亀成川と古新田川合流部において、あみだくじ作戦を2回実施し、堆積した土砂を掘り、ワンドや川の流れに垂直方向の流路を作った。
- ② コウホネ植栽地区に繁茂している特定外来生物のナガエツルノゲイトウ駆除のため、再生区(2011年に実施した土嚢マコモ植え付け10列2か所)の間で、ホタルの里クリーン作戦(美しい手賀沼を愛する市民の連合会、印西市との協働事業)として、0.82tを駆除した。子どもたちも参加して、ナガエツルノゲイトウに隠れている水生生物を救出した。
- ③ 2010年から実施している川の生きもの定例モニタリング調査を2回実施した。

(2) 流域の保全事業

- ① 亀成川流域の谷津では、耕作放棄がすすみ、みよの管理がなされなくなって、谷津の生きもの生息・生育環境が急激に劣化している。ニホンアカガエルの卵塊調査では、2020年から大森谷津、大山谷津など鹿黒橋上流の谷津と亀成川最上流のみよや田んぼに、卵塊が全く見られないという結果となった。小規模なみよ掘りの他、2021年からは、亀成川上流部の右岸斜面林下のみよ(小さな池)を掘り、日光を遮る枝を払った。2023年3月の調査では、卵塊が数個見られて、保全の成果があった。
- ② 榎戸谷津の耕作放棄田について、農家の理解を得て、生きもの生息・生育環境を守るための田んぼ作りを継続した。3年前に実施したヤナギの伐採で残った根を引き抜き、開墾した田んぼは、ホタル田んぼ(約0.5反)と名前をつけ2年目の耕作を行った。田んぼに隣接する生きもののために冬も水のある池を掘り直した。生きもの住処となる田んぼを拡大するため、今年度はカエル田んぼ(約1反)の追加耕作を行った。次年度以降も耕作を継続する。田んぼ作りには近隣の家族を募り、観察会などを並行して実施した結果、お米パーチーとして収穫を祝った。
また、道路下のみよについては、当会の活動に理解ある農家が、当会の手掘りに加えて、機械によるみよ掘りを実施した結果、近年見られなかったニホンアカガエルの幼生が復活した。

2 谷津に親しむ公園作り事業

(印西市公園美化活動・千葉県河川海岸アダプトプログラム事業)

(1) 別所谷津公園

- ① アメリカザリガニ駆除のモンドリにかかるエビ類が多くみられるようになったが、ブルーギルやウシガエルの幼生が相変わらず多く、6年前から見られなくなったオニビシも根付かないでいる。
- ② オシドリなどの水鳥人気は強く、2020年の毎日新聞に続き2021年は東京新聞でも紹介された。
- ③ 西側園路の柵内の草刈を2年ぶりに実施したところ、2022年春にはホタルカズラの群落が大きくなった。

(2) 下池（古新田川防災調節池）

- ① 水辺については、保護容器の管理を実施している。周囲からの造成土の流入による池の水質劣化は防ぐことができず、希少トンボが絶滅したとみられる他、池にも沈水植物がほとんど見られなくなっている。
- ② 侵入してきたオオカワヂシャの駆除を実施した。
- ③ 池に沈殿した造成土を流出させるため、流出口のごみ除去などを実施した。水位が浅くなっているが、その結果、サギなどが頻繁に飛来してアメリカザリガニを捕食していると考えられる。
- ④ 東側の雑木林については、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業により、侵入しているマダケを中心に明るい雑木林作りを実施した。キンランなど林床植物調査結果によると、2022年の株数が大きく増えており、ワニグチソウ、チゴユリ、シュンランなどの林床植物も目につくようになった。
- ⑤ 表土を移植した馬込原については、裸地として残してもらったことも幸いして、実生のマツが増えているほか、移植表土からの種や開発前に救出移植した植物により、かつての草地の景観が戻りつつある。

(3) 緑地

- ① 最下流について、クズ取やマコモ、ヨシ刈を実施し、竹のバイオマス集積場を作った。
- ② 古新田川の段差については、川床を掘ることで、段差を解消しつつある。
- ③ メダカ田んぼは、2021年度以降は米を作らず、生きものの田んぼ（生育地としての湿地）として管理した結果、メダカやカエルが増えているようだ。
- ④ フデリンドウ土手については、全体の4分の3まで草刈りを実施し、草地への移行を促している。今後は、少なくとも年に2回の刈り取りを実施して、もともと自生していたフデリンドウなど草地性の植物を保護保全したい。
- ⑤ ホタルについては、数が少なく、餌となるカワニナが激減している状況があるが、左岸みよ下では、アメリカザリガニが減っており、ヨコエビやスジエビが増えている。

(4) 外来種駆除

- ① 公園池、下池、緑地について、月2～4回、モンドリの点検による駆除を実施している。駆除の雌雄比から雄の方が多く駆除できていること、抱卵個体は9～12月及び3～5月に多く駆除できる傾向が見られた。

(5) 滝野草地

管理している都市整備課の理解により、一部の草刈を制限した結果、2022年の春は、ワレモコウ、ウマノアシガタ、キツネノカミソリ、ツルボなど、かつての印西ではどこにでも見られ、今は希少となっている草地性植物が確認された。

昆虫などの詳しい調査が課題である。

この草地は、業者が年3回の草刈りを実施しているため、特に保護の必要な場所について、夏の草刈りを取りやめてもらったところ、ササなどが繁茂し、調査もままならない状況となった。その結果を踏まえ、会としての維持管理能力を考慮して、草刈りの制限区域を従来の約半分（幅を焼く50mから約25m）に狭めた。

3 調査事業

亀成川の生きもの定例モニタリング調査の他、雑木林及び草地の植物調査、公園内水辺の水生生物調査、流域のホタル（ゲンジ、ヘイケ）、ニホンアカガエル卵塊調査、湧水と川の水質調査（印西市と協働）などを実施した。

4 啓発・学習事業

(1) 保全体験型観察会

引き続き裏庭散歩シリーズを実施した（近隣のニュータウン市民にちらしを個別配布）。セイタカアワダチソウ引っこ抜きとオカリーナ演奏会、保護容器の保全と水辺の生きもの観察会、雑木林の手入れとお米パーティー、雑木林の手入れと木の葉でお絵かき（焼き芋つき）などを実施し、近隣の家族が参加し、生きものの田んぼグループ参加の会員が増加した。

(2) カエル田んぼ作り

家族参加者向けに後半は田んぼや水辺の生きもの観察会を実施した。

5 協働・連携・支援事業

(1) 印西市、他の市民団体など主催の啓発イベント協力

いんざい自然探訪、中央公民館の亀成川観察会、いんざい子ども劇場の田んぼの観察会などに講師や観察会スタッフとして、協力支援した。

(2) 滝野小ビオトープ支援

繁殖しているアメリカザリガニやカダヤシの駆除を実施し、2021年度にコウホネを植え付けたが、全滅した。上流に位置する池からのカダヤシの提供が止まらないこと、コンクリート底の一番深い場所のアメリカザリガニが駆除できないことなどから、ビオトープとして継続させることは困難と結論した。そのため、もともと植栽してあったスイレンを10株以上植え付けたが、それもアメリカザリガニのためか、他の理由があったのか、3株を残して消滅したため、2023年2月に、田んぼの土を入れてたスイレン鉢を20株以上、移植した。

(3) 印西市と協働

亀成川の生きもの調査、水質調査、湧水の水質調査、ナガエツルノゲイトウ駆除を実施した。谷津を活かした公園作りは、実態は印西市との協働事業となっている。

(4) 連合会等への参加

美しい手賀沼を守る市民の連合会、手賀沼流域フォーラム、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、千葉県ボランティア協議会及び環境パートナーシップちばのボランティア受け入れに参加した。

6 広報事業

- ① 印西市主催の環境フェスタ及びエコメッセ in ちばに出展参加した。
- ② 印西市市民活動支援センターのだんご祭りに動画を提出した。
- ③ 別所谷津公園近隣のニュータウン住民への広報のため、保全体験型観察会やトンボレンジャー募集、田んぼ作り募集のちらしを、2回、各戸配布した。そのほかのイベントについて、小学校配布を実施した。
- ④ ホームページ、フェイスブック、ブログを随時更新

事業名		2022年度 事業内容	回数	場所	従事者数	*受益対象者
(1) 川と流域 保全・再 生事業	亀成川	堆積物により発達した中洲が流路を単調にしているため、ワンド作りや流路作り、ヨシ刈り。ナガエツルノゲイトウ駆除など	4	亀成川	64	33
	流域	流域のみよの泥上げ、斜面林整備など ごみ拾い(作業、イベント、調査の随時=参加者・回数に含めず)	2	亀成川 上流部	4	
		ホテル田んぼ作り・カエル田んぼ耕作準備 収穫祭(お米パーティー)、観察会	30	榎戸谷津	209	10
(2) 谷津に親 しむ公園 作り事業	公園	池の外来種駆除のための整備、公園池周辺の斜面林の草刈	3	公園	72	45
	下池 林	明るい水辺と雑木林作り、管理用道作りのための草刈り(樹木伐採・竹除伐・シノダケ刈)	6	調節池	31	6
		水生生物保護容器管理(南22基、北13基) 草地性植物保護管理	28	雑木林	178	40
	緑地	湿地再生のための池掘、 明るい小川作りのためのマコモ除伐・ヨシ刈り 明るい雑木林作り、草地性植物保護管理、水生生物保護容器管理	13	緑地	40	9
				馬込原		
	草地	草地性植物の調査、ごみ拾い、看板設置	4	滝野草地	6	
駆除	アメザリ駆除 古新田川最上流部 86回 4539匹 ギル駆除、モンドリ修理など 昨年の半分以下に減っている。	78	公園池、 調節池、 緑地	131	30	
(3) 調査事業	川の生きもの、植物、水生植物、トンボ、ニホンアカガエル卵塊、ゲンジボタル、ヘイケボタル等	29		140	17	
(4) 啓発・学 習事業	体験型観察会、トンボレンジャー セイタカアワダチソウ引っこ抜きとオカリナ演奏 雑木林の手入れと落ち葉のお絵かき 雑木林の手入れとお米パーティー 田んぼ作業の折に家族を対象に実施 (回数と人数に含まない=田んぼ作りの参加者対象)	12		235	97	
(5) 協働・連 携・支援 事業	印西市、他の市民団体など主催の啓発イベント協力 (印西自然探訪、中央公民館事業、いんざい子ども劇場) 千葉県ボランティア協議会及び環境パートナーシップちばからのボランティアの受け入れ。	11		156	115	
	美しい手賀沼を守る市民連合参加 手賀沼流域フォーラム参加 全国ブラックバス防除市民ネットワーク参加	1		25	4	
	滝野小西北角のピオトープ池の保全 アメザリ駆除や、コウホネ植え付けを実施。	2		5		
(6) 広報事業	広報いんざいに掲載、 いんざい環境フェスタに出展、 だんごまつりにビデオ参加、 エコメッセ2022inちばに出展 千葉県ボランティア協議会報告会及び環境パートナーシップちばのユースボランティア報告会に参加 チラシ作成と配布(小学校全校配布2回、周辺住宅2回全戸配布) ホームページ、フェイスブック、ブログの更新 田んぼ作りについては、ライングループで報告など。					

*受益対象者は生態系保護なので、全域。受益対象者の人数は従事者のうち一般参加者数

第2号議案 2022年度決算報告

科目	予算A)	決算B)	差(B-A)	主な内容
I 経常収益				森林山村多面的機能発揮金事業は交付金事業と略す。
1. 受取会費				
正会員受取会費	100,000	80,000	-20,000	
賛助会員受取会費	15,000	15,000	0	
2. 受取助成金	195,000	195,000	0	県民の環境活動支援事業助成金
3. 受託事業収益	130,000	105,128	-24,872	美手連「ホテル里クリーン作戦」80,128円 流域フォーラム「冬鳥の観察会」25,000円
4. 燃料受贈益	0	11,520	11,520	印西市から混合ガソリン 30ℓ 受領
4. 受取寄付金	325,000	409,655	84,655	交付金事業作業参加者の日当 312,000円、その他 97,655円
5 受取補助金	331,640	437,732	106,092	森林山村多面的機能発揮交付金+幕張メッセの参加費用
5. その他の収益	50,000	29,664	-20,336	イベントの参加者からの参加費など
6. 受取利息		4	4	
合計	1,146,640	1,283,703	137,063	
II 経常費用				
1. 事業費				
臨時雇い	300,000	372,000	72,000	交付金事業参加者(延 104人×日当@3,000円)と幕張メッセ日当 60,000
諸謝金	80,000	69,000	-11,000	講師料(観察会、保全作業等)
印刷製本費	40,000	46,328	6,328	チラシ印刷代、コピー代、インク、コピー用紙等
燃料費	10,000	16,026	6,026	刈払機混合ガソリン購入は 1470円 で残りは印西市からの寄付
消耗品・材料費	100,000	332,530	232,530	稲作作業消耗品、ライフジャケット、ビブス、刈払い機など
修繕費	5,000	5,462	462	一輪車の修理
賃借料	44,500	40,500	-4,000	耕作トラクター・軽トラックのレンタル料
旅費交通費	245,000	207,019	-37,981	活動参加者への交通費 1回 500円 (交付金作業延 104人と一般事業参加者の延 87人分)を支給。そのほか学生のボランティアに交通費支給など
保険料	23,000	29,087	6,087	交付金事業活動参加者と一般事業のイベント参加への保険料支払い
資機材	61,320	61,780	460	森林山村多面的機能発揮交付金から半額補助
雑費	30,000	24,269	-5,731	振込手数料や活動時の茶菓子など
事業費計	938,820	1,204,001	265,181	
2. 管理費				
印刷製本費	8,400	9,738	1,338	トナー代など
通信運搬費	2,000	4,024	2,024	切手代など
事務手当	80,000	70,000	-10,000	会運営事務手当 40,000円、助成金事務費 30,000円
会議費	0	1,100	1,100	打合せ
旅費交通費	20,000	1,750	-18,250	
渉外費	5,000	25,562	20,562	協力農家などの渉外費
消耗品費	5,000	12,244	7,244	事務用品
加盟団体会費	10,000	5,000	-5,000	美しい手賀沼を愛する市民の連合会会費
その他雑費	3,000	1,740	-1,260	振込手数料など
管理費計	133,400	131,158	-2,242	
合計	1,072,220	1,335,159	262,939	
当期経常増減額	74,420	-51,456	-125,876	
前期繰越正味財産増減額	74,420	-51,456	-125,876	
前期繰越金	561,587	561,587	0	
次期繰越正味財産	636,007	510,131	-125,876	

活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで
NPO法人亀成川を受する会 (単位:円)

科目	金額	
I 経費収益		
1. 受取収益		
正会員受取会費	80,000	
貸助委員受取会費	15,000	95,000
2. 受取寄付金		409,655
受取寄付金		409,655
3. 受取助成金		632,732
受取民間助成金	195,000	
受取国庫補助金	437,732	
4. 受託事業収益		105,128
5. その他の収益		
燃料受贈益	11,520	
雑収入	29,664	
受取利息	4	41,188
経常利益計		1,283,703
II 経常費用		
1. 事業費		0
(1) 人件費		
臨時雇い	372,000	
諸謝金	69,000	
賃借料	40,500	
印刷製本費	46,328	
資機材	61,780	
修繕費	5,462	
燃料費	16,026	
消耗品・材料費	332,530	
旅費交通費	207,019	
保険料	29,087	
雑費	24,269	
事業貸計	1,204,001	1,204,001
2. 管理費		
印刷製本費	9,738	
旅費交通費	1,750	
会費	1,100	
渉外費	25,562	
通信運送費	4,024	
事務手当	70,000	
図印委費	5,000	
消耗品費	12,244	
雑費	1,740	
その他経費計	131,158	131,158
当期経常費用計		1,335,159
当記正味財産増減額		-51,456
前期繰越正味財産額		561,587
次期繰越正味財産額		510,131

貸借対照表

2023年3月31日現在
NPO法人亀成川を受する会 (単位:円)

科目	金額	
I 資産部		
1. 流動資産(当座資産)		
現金 手持有高	56,866	
預金 普通預金 (ゆうちょ銀行)	398,107	
預金 振替口座 (ゆうちょ銀行)	41,273	496,246
2. その他の流動資産		
前払金 (印刷費・保険料)	13,885	
流動資産合計		13,885
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		510,131
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	561,587	
当期正味財産増減額	-51,456	
正味財産合計		510,131
負債及び正味財産合計		510,131

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準 (2010年7月20日、2017年12月12日景最終改正 NPO法人会計基準協議会) によっています。
消費税の会計処理は税込み方式によっています。
現金の内40,000円は事務手当の原資に使用が制約された寄付金です。

財産目録

2023年3月31日現在
NPO法人亀成川を受する会 (単位:円)

科目	金額	
I 資産部		
1. 流動資産		
現金 手持有高	56,866	
預金 普通預金 (ゆうちょ銀行)	398,107	
預金 振替口座 (ゆうちょ銀行)	41,273	496,246
流動資産合計		496,246
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		496,246
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産の部		
正味財産		496,246

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準 (2010年7月20日、2017年12月12日景最終改正 NPO法人会計基準協議会) によっています。
消費税の会計処理は税込み方式によっています。
現金の内40,000円は事務手当の原資に使用が制約された寄付金が含まれます。
各口座の3/31付の残高はゆうちょダイレクトで、確認済み。

監 査 報 告 書

NPO法人亀成川を愛する会
 理事長 小山 尚子 様

1. 会計監査の部

定款第15条第5項第2号(監事は、次に掲げる職務を行う。(2)この法人は財産の状況を監査すること)及び第44条第1項(この法人の事業報告・活動計算書・貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに理事長が作成し、監事の監督を受け、総会の議決を
 終なくればならない。)に基づき、2021年度における当会事業報告・活動計算書・貸借対照表及び
 財産目録に関し、帳簿類、領収書等を監査した結果、報告書の通り正確かつ適正であることを
 認めます。

2. 業務監査の部

定款第15条第4項第1号(監事は、次に掲げる職務を行う(1)理事の業務執行の状況を監査する
 ことに基づき、当会の業務執行について監査した結果、定款に則り、適正に処理されていること
 を認めます。

令和5年4月7日
 監事 清水 厚真

JP ゆうちよ銀行
 BANK

ゆうちよダイレクト

閉じる

現在高照会

NPO法人 亀成川を愛する会 様

令和5年4月3日 10時09分時点

お客さま番号：0027-0844-48458

※ 上記のお客さま番号に登録されている口座のみ表示しております。

現在高照画面に表示される項目について

振替：00250-5-108059(代表)

現在高	41,273円
-----	---------

総合：10590-95337351

現在高	398,108円
うち振替現在高	0円
引出可能残高	398,108円

利息、
 1円
 増えた

現在高の金額に－(マイナス)がある場合は貸付高を表します。

ゆうちよダイレクトサポートデスク (受付時間)

0120-992-504

ご利用時間についてはゆうちよ銀行Webサイトの
 お問い合わせページでご確認ください。
 ※防犯電話等からご利用いただけません。
 ※IP電話等一部ご利用いただけません。

JP 日本郵政グループ